

令和元年度NICU等入院児の在宅移行支援の取組

(1) NICU入院児支援コーディネーター配置促進

NICU入院児支援コーディネーターを配置し、早期から在宅への移行支援を行うことにより、家族の療養環境の整備とNICU等病床の確保を図る。

＜NICU等入院児支援コーディネーターもしくは同等の役割を担う職員の配置状況＞

【平成30年度】 25施設（実態調査より）
 （内訳） 総合周産期母子医療センター 13施設
 地域周産期母子医療センター 11施設
 周産期連携病院 1施設

(2) NICU入院児支援コーディネーター連絡会

NICU入院児支援コーディネーターや、その業務を担っている看護師、助産師、MSW等を対象として、各施設の取組の情報共有や退院支援に関わる資質向上を図る。

【令和元年度】3回実施予定 第2回は小児等在宅移行研修（保健師向け）と合同開催

| 開催日 | テーマ | 参加状況 |
|----------------|---|------------|
| 令和元年 12月25日 | NICU入院児の在宅移行支援について、GW 講師：訪問看護ステーション | 18人/15施設 |
| 令和2年 1月23日 | NICU入院児の在宅移行支援について ～地域と医療機関の連携を深めるために～ 講師：保健所保健師、NICU入院児支援Co等 | 41人/32施設予定 |
| 令和2年 2月20日 | こどもの成長発達に応じた保健・医療・福祉制度の活用について、GW | 15人/12施設 |

(6) 小児等在宅移行研修事業

東京都周産期母子医療センター、周産期連携病院及び東京都子ども救命センター（以下「周産期センター等」という。）におけるNICU・PICU等入院児の在宅療養への円滑な移行を促進するとともに、在宅移行後の地域における児の安心・安全な療養生活の実現を図るため、周産期センター等、その他の病院、診療所、保健所及び区市町村等における医療・保健・福祉従事者に対して、研修会を実施することにより、NICU・PICU等入院児の円滑な在宅移行を担う人材と、移行後に必要な医療・保健・福祉サービスを担う人材の育成を図る。

【令和元年度予定】

| 区分 | 目的 | 内容 | 開催日 | 参加者数 |
|------------------|---|---|----------------|---|
| 診療所医師向け | ○小児在宅医療の実際を体験し、小児在宅医療及び小児在宅移行を担う医師の確保及び質の向上を図る。 | ○小児の訪問診療の同行（呼吸・循環管理、栄養管理、在宅生活支援、家族支援等の見学） ○小児在宅医療における診療報酬等に関する講義 | 令和元年8月～令和2年3月 | 1か月コース：3人 3か月コース：3人 （クリニック5、周センター1） |
| | | ○小児の在宅医療に必要な最新の知識・技術 | 令和2年2月23日（中止） | 申込125人 |
| 指定二次救急医療機関等従事者向け | ○在宅におけるケアの実際を知り、退院支援及び退院後のレスパイトケア等の支援に資する。 | ○訪問看護・訪問リハビリの同行 ○児童発達支援サービス事業所の見学等 | 令和元年7月～令和2年3月 | 10人（周産期母子医療センター、連携病院のNs） |
| | | ○重症心身障害児等の療育と支援 | 令和元年11月25日～26日 | 5人（Ns） |
| 多職種合同研修 | ○小児の在宅移行支援を担うリーダー的職員の育成 | ○小児在宅医療の現状と多職種連携の意義と理念 他 | 令和元年10月19日～20日 | 80人（Dr、Ns、教師等） |
| 保健師向け | ○子ども救命センター、周産期母子医療センター等と連携を図りながら、地域における支援を強化する。 | ○NICU入院児の在宅移行支援～地域と医療機関の連携を深めるために～ 講師：保健所保健師、NICU入院児支援Co等 | 令和2年1月23日 | 27人 |

(3) 在宅移行支援病床運営事業

NICU・GCUと在宅療養の間に中間病床として在宅移行支援病床を設置し、在宅療養等へ向けた準備（訓練等）を行い、運営することにより、NICU等長期入院児の在宅療養等への円滑な移行の促進を図る。

【平成30年度実績】 10施設 45床
 （内訳） 総合周産期母子医療センター 5施設（31床）
 地域周産期母子医療センター 3施設（10床）
 指定二次救急医療機関（小児） 2施設（4床）

(4) 在宅療養児一時受入支援事業

NICU等長期入院児の在宅医療中の定期的医学管理及び保護者の労力の一時支援を行う。

【平成30年度実績】 19施設 41床
 （内訳） 総合周産期母子医療センター 5施設（16床）
 地域周産期母子医療センター 8施設（17床）
 周産期連携病院 1施設（1床）
 指定二次救急医療機関（小児） 5施設（7床）

(5) NICU等入院児在宅移行支援事業

NICU等入院児の外泊訓練等、退院に向けた支援の充実を図り、在宅療養への円滑な移行を一層推進するとともに、退院後の安定した生活の継続を支援する。

| | |
|--------------------------------|------------|
| 【平成30年度実績】 | 【令和元年度申請数】 |
| 周産期母子医療センター（申請）9施設（利用）4施設 10名 | 14施設 |
| 訪問看護ステーション（申請）65施設（利用）34施設 58名 | 61施設 |